

# 総合評価書要旨

## 農林水産分野の研究開発 (農林水産研究の重点目標の進捗状況の検証)

### 1. 評価の目的

農林水産分野の研究開発は、食料・農業・農村基本計画等を踏まえ、平成22年3月に「農林水産研究基本計画」（以下「研究基本計画」という。）を策定し、我が国の農林水産業・農山漁村が直面する状況や国際的な課題の克服に向けて、革新的な研究開発を計画的かつ効率的に進めるため、5つの研究領域について重点的に推進している。また、平成24年3月には「農林水産研究における原発事故への対応方針」を策定し、研究基本計画の研究領域に「原発事故対応研究」を追加している。

本評価は、研究基本計画の見直しの検討に活用するため、現行の研究基本計画の基準年である平成22年度から平成24年度までを評価期間として、現時点における「重点目標\*1の進捗状況」の観点から、その研究開発の有効性等について検証した。

検証にあたっては、6研究領域28重点目標の研究項目毎の平成27年度の期別達成目標\*2の達成状況等を検証・評価した。

\*1 総合評価書の別紙1参照

\*2 総合評価書の別紙4参照

### 2. 評価（検証）の結果と今後の方向性

(1) 農林水産研究基本計画に掲げられている重点目標（6研究領域13分類28目標）のうち、3目標については「計画を上回って進捗している」としてS評価、1目標については「進捗がやや遅れている」としてB評価、残りの24目標については「順調に進捗している」としてA評価となった。

研究基本計画の重点目標全体の平成22～24年度の進捗状況については、本検証において、一部の研究開発において研究の出口までの見通しが十分でなかったこと等から研究を中止した研究課題がみられたものの、全体としては期別達成目標に対し順調に進捗していると判断できる。

(2) 本検証・評価結果を踏まえ、新たな研究基本計画における目標全体の構成や設定等の検討材料として活用する。

なお、研究基本計画の見直しに当たっては、現在見直しが行われている「食料・農業・農村基本計画」と歩調を合わせつつ行うこととしている。